

花園だより 前期学校評価号



平成27年10月29日
京都市立花園小学校
校長 綾野 美晴

平成27年度 第1回学校評価から

秋本番を迎えました。実りの秋と申しますが、花園の子ども達の学びにも多くの実りがあるように、教職員一同、学校教育の充実に向け、日々取組を進めています。

さて、今年度1回目の学校評価を7月に行いました。多数のご回答を保護者の皆様よりいただきました。学校のことについて多くの関心をもっていただいていることを実感しております。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。今回は、その集計結果と考察を紙面ににて報告させていただきます。

保護者の方のアンケートから

確かな学力

「自ら表現し、学ぶ」子ども達を

学校の授業でも、「自分の思いや考えを言葉や文章で伝え合う、交流する」ということについて、1時間の中に話し合い活動をどのように位置づければ、子ども達が生き生きと学習できるのかを考えています。自分の思いを話すための手立ては何か、また思いを伝えたいような場面づくりとはどうしたらいいか等様々な教科で取組を進めています。

本校では、集会や朝の会や終わりの会のような場面で、テーマを決めてみんなの前で改まって話す機会を大切にしたり、互いに考えを伝え合うことが、必然となるような授業づくりをしたりしています。

これからも、授業だけでなく「自分の思いをしっかり話す」ことを大切にしたり行事を積極的に行っていく予定です。子ども達の様子をぜひご覧いただきたいと思います。

また、ここ数年続いて課題となるのは、自ら進んで学ぼうとする姿勢がやや弱い点です。与えられたことは丁寧に、正確にやりきることができる花園の子ども達ですが、課題が済めば、それ以上の学びにつながらず、自主的な学びとなりにくいようです。「家庭学習の時間が不十分」と結果にあがるのも、そのあたりが関係していそうです。

そこで、本年度は自主学習の取組を全校で重点を置いて取り組んでいます。取組の一つにノートづくりを楽しみながら、自ら考えをもって、主体的な学びを進めることができるように「はなぞのスタディ」を作成し配布しています。どのように進めたらいいか、どのようなノートづくりができそうか、たくさんのアイデアを掲載していますので、親子で読んでいただき、是非ご活用ください。

学校教育目標

心豊かに
たくましく
かがやき合う
花園の子



豊かな心

あいさつはステキなコミュニケーション



「最近はいいさつしない子が多い」とは、近頃の子どもの特徴の一つにもなるかのように、よく聞く言葉です。今回の結果でも、20%以上の方ができていないと感じておられます。

花園の子ども達の登校時や下校時の様子からも、確かに上記に「かなりあてはまる」児童も少なくありません。しかし、一人一人としっかりと向き合うと、丁寧にあいさつをすることができる子どももまた、少なくありません。大きい声を出すことを苦手としている子どももいます。

そこで、ゆっくりと目と目を合わせて、心を込めて笑顔であいさつを交わせるようなゆとりあるコミュニケーションも大切にしていきたいです。そして、まずは、大人がそのようなあいさつを実践し、豊かなつながりを築いているところを子ども達に見せていきたいです。そのことを通して、あいさつが人と人をつなぐステキなコミュニケーションであるということを、ぜひ、子ども達にも実感してほしいと思います。

読書

読書の楽しさ、感じてる？

転任してきた教職員にとって、花園の子ども達の様子をみて、まず驚かされるのが、読書好きな子どもが多いということです。読み聞かせを聞く子ども達、図書館に向かう子ども達のうれしそうな表情は本当に素晴らしいと感じます。

ところが、結果では3割以上の方が「進んで読書をしていない」と感じておられます。学校生活では、かなり本に親しむことができつつあるのですが、ご家庭では、先にも述べた家庭学習の時間の使い方として、読書をうまく組み込めず、なかなか習慣化しないことも要因かもしれません。

もとより、読書の世界の楽しさを感じたら、ご家庭でもぜひ続けて読みたいと思うはずです。学校でも、読書環境を整えて、読書することで味わえる楽しさや感性に響くような本の魅力を伝え、幅広い読書につながるように働きかけていきたいと思っています。

「親子読書」で取り組んでいただいておりますが、家庭生活の中にも読書が息づき自然に本と触れ合うことができるように、学校の取組と連動して子ども達の読書活動を引き続きサポートをしていただきますようお願いいたします。



運動会では、たくさんのご参観ありがとうございました。次回の行事は、11月18日(水)学習発表会です。

ぜひ、子ども達の一生懸命の姿をご覧ください。



楽しい学校

学校は楽しい！が一番！

結果では、95%以上の方が「子どもが楽しく学校に通っている」と感じていただいていることがわかりました。すべての子ども達が、「期待する登校、満足の下校」を実践することができるように、学校生活の充実に向けた取組を進めていきたいと思っています。

保護者の方の評価一覧表

	質問内容	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
確かな学力	子どもは、基礎的な学力が身についている。	20.0%	62.0%	14.6%	1.5%
	子どもは、自分の思いや考えを言葉や文章で表現できている。	10.2%	57.1%	28.3%	2.4%
	子どもは、家庭学習が定着している。(目安・学年×15分)	25.4%	44.9%	22.9%	4.9%
	指導者は、わかりやすい授業をするために工夫している。	38.5%	57.6%	2.0%	0.0%
豊かな心	子どもは、規則を守り、正しく行動している。	31.2%	58.0%	7.3%	1.5%
	子どもは、人にやさしく親切にしている。	24.9%	65.9%	7.3%	0.0%
	子どもは、家族や地域の人に進んであいさつをしている。	23.4%	51.7%	21.5%	1.5%
健やかな体	子どもは、早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣が身についている。	29.3%	52.2%	14.1%	2.4%
	子どもは、休み時間や体育の時間、部活動等で活発に運動している。	40.5%	50.2%	4.9%	2.4%
読書活動	子どもは、学校や家庭で進んで読書をしている。	18.5%	42.0%	29.8%	7.8%
楽しい学校	子どもは、楽しく学校に通っている。	61.5%	34.6%	1.5%	0.5%
PTA	保護者として学校行事やPTA行事・地域行事によく参加している。	12.7%	63.4%	21.0%	1.0%

子ども達のアンケートより

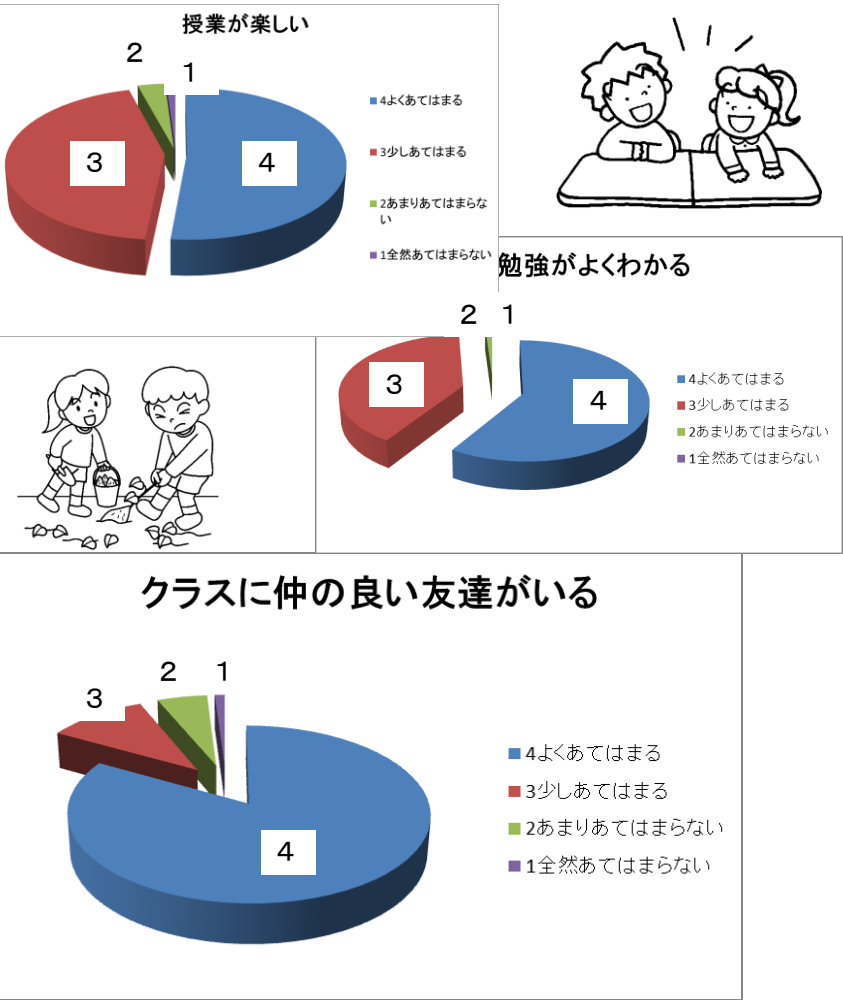
今回は、4～6年生を対象にした学校生活アンケートの結果と考察をお伝えします。

楽しく通っているよ！ 友だち・勉強

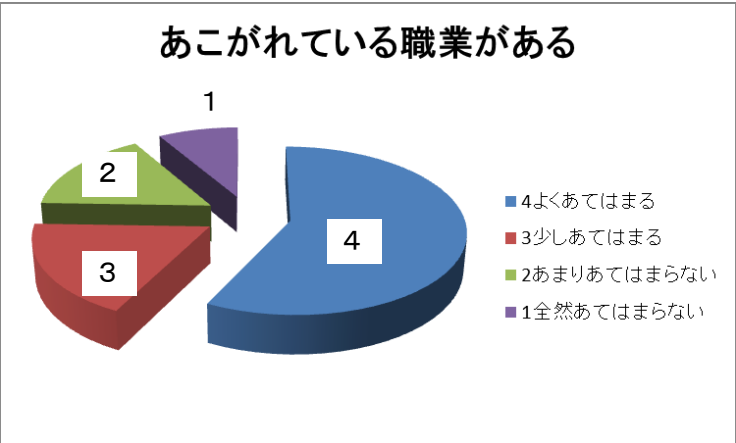
90%以上の子ども達が、「クラスに仲の良い友達がいるか」、「授業が楽しいか」、「勉強がよくわかるか」という質問に「よく、少しあてはまる」と答えています。やはり、友達とのかかわりや、学びがわかる、できる、楽しいということが、子ども達の学校生活で重要であることを改めて感じます。

日々の授業では、授業のめあてを子ども達に明確に伝え、そのめあてにそって、1時間ごとの学びのまとめを丁寧に取り組むようにしています。子ども達個々で「わかる」という程度の差はあるでしょうが、「わかる」楽しさ、「できる」楽しさを多くの子ども達が味わえるように、少人数のクラスの学習や支援員やボランティアによる個別のかかわり、支援を続けていきます。

また、たてわりグループの取組も進めており、年間を通してかかわりを深めていく活動を継続して行っています。休み時間にも低学年と高学年の子ども同士が仲良く遊んでいる姿をよく見かけます。学校生活の中に、頼れる頼られる安心感を生みだしていると感じます。学年や学級でも、個々の子ども達が集団の中での存在感や、集団への所属感が感じられるように取組を進めていきたいと思います。



大きな夢、あこがれは・・・なんだろう？



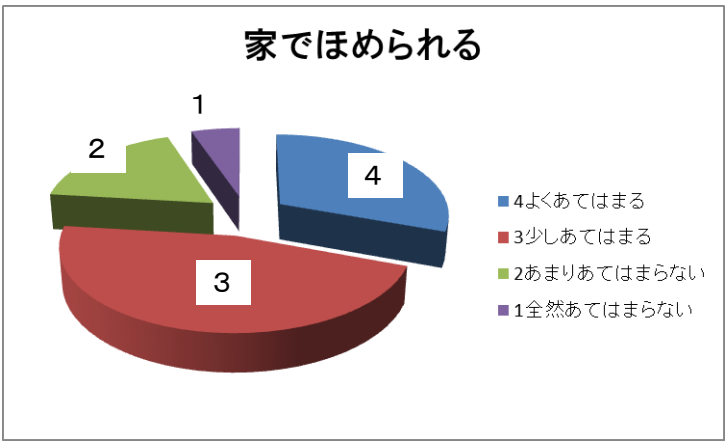
6年生の全国学力・学習状況調査の中に、子ども達の意識調査もあわせて行われます。その中で、ここ数年、花園の子ども達の課題としてあがっていることに、自分に自信がなく、将来展望がもちにくい。という点があります。

今回の結果でも、「あこがれている職業がある」という項目で、他の質問より「あまり、全然あてはまらない」の割合が高くなっています。

学校では、キャリア教育につながる総合的な学習を学年に応じて進めたり、道徳の時間を中心に、自分を認めさらにより良い自分をめざすような学びに取り組んだりしています。運動会や学習発表会など行事では、一人一人が活躍できる場をつくり、それを個々に評価することを積み重ねていくことで、子ども達の自信と意欲につなげていきたいと考えています。

ご家庭でも、将来や夢につながる話題で話し合いをもっていただき、子ども達が、自分の持つ無限の可能性に向かっていく強い気持ちを持つことができるようにご支援をお願いします。

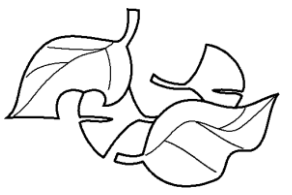
ほめてもらってのびていきます！



子ども達の回答の結果で、「よくあてはまる」の割合が一番低かったのが、この「家でほめられる」という質問です。「ほめる」ことは簡単なようで、難しいものです。タイミングよく、子どものがんばりや努力を認めることが、より子ども達の向上心につながると思います。過剰な自信につながるのでは？とご心配な方もおられるかもしれませんが、子ども達の行動、言動について、「すごい。素晴らしい。」という評価としての”ほめ”だけでなく、「う

れしい。感動した。」などとおうちの方の気持ちを伝えることが、子どもの心に響く「ほめる」ことにつながるのではと思います。学校でも同様に、子ども達の意欲につながる言葉かけをいいタイミングでできるようにと思います。

学校・家庭・地域での地道な子どもへの働きかけが、子ども達の主体性、自信につながると考えています。また、望ましい生活習慣や学習習慣は、主体性や自主、自立の基盤となります。子どもたちの健やかな育ちと学びのより良い環境づくりに向けて、今後ご協力をお願いいたします。



子ども達の評価一覧表

	4よくあてはまる	3少しあてはまる	2あまりあてはまらない	1全然あてはまらない
勉強がよくわかる	58.9%	40.0%	1.1%	0.0%
授業が楽しい	51.6%	44.2%	3.2%	1.1%
勉強は自分のためになる	84.2%	14.7%	1.1%	0.0%
勉強が楽しくできる	44.6%	45.7%	8.7%	1.1%
憧れている職業がある	57.4%	18.1%	16.0%	8.5%
将来の夢がある	75.5%	10.6%	8.5%	5.3%
家の人と一緒にいるとほっとする	73.1%	18.3%	4.3%	4.3%
家の人といろいろな話をする	72.8%	18.5%	7.6%	1.1%
家でほめられる	30.5%	46.3%	17.9%	5.3%
クラスに友だちがたくさんいる	76.8%	17.9%	3.2%	2.1%
友だちが自分を支えてくれていると感じる	51.6%	33.7%	10.5%	4.2%
クラスの友だちといるとたのしい	80.6%	11.8%	6.5%	1.1%

運営協議会理事の方からの ご意見

- 人と人が向きあって、話をすることは大事。子どもや大人の中で一部、見守り隊や地域の方と向き合うことができない人があるのは残念。
- 思春期を迎えた子どもには、元気の良い挨拶が恥ずかしいだろうというのも理解できる。
- 「ただいまー。」と元気よく挨拶する子ども達が多い。近所の良く知る子ども達は、よく挨拶できている。
- ほめることの実践を、地域からもぜひ進めていきたい。
- 根気よく子ども達に挨拶の大切さを伝えていきたい。
- 個別に指導している様子を知り、学校も粘り強く学力をつけようと努力しているのがうかがえる。子ども達も学習、行事などに意欲的だ。
- 学校の環境がよい。玄関前、中庭など美しく整えてあるのがうれしい。